



珍しいジャガイモの実。
トマトみたいでしょ（笑）
（P.7 農業女子の写真①）



「とれぶりんか塾」は、学習支援と、ボランティア。
「第三の居場所」をめざします！（P.4 に紹介記事）



- ✎ 天国への階段 + 瀬戸内寂聴先生
- ✎ STEMz マンガ文庫 蔵書紹介
「国会」と「弁護士」をテーマにしたマンガ
- ✎ 「とれぶりんか塾」子どもたちの選択肢を多くしよう！
- ✎ 今月の五行歌
- ✎ 原発賠償関西訴訟第33回期日の報告
- ✎ 秀作エッセイ「貫くということ」
- ✎ なんちゃって農業女子(笑) 16
- ✎ イベント紹介
- ✎ わたしの闘病日記「身体中で一番新しい関節に感謝」(完)
- ✎ 編集局より/会計報告

「LIP編集局」

<https://love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス：lip@love-dugong.net

TEL：070-5653-6913（18時以降）



瀨戸内寂聴先生

「天国への階段」より

鶴島緋沙子

緑がいっぱいに広がる五月、山陰線は京都「嵯峨嵐山」の駅に降り立った。天国へ旅立たれてから早や四か月が経つ。

作家であり、僧侶でもあった瀨戸内寂聴先生のお住まい、嵯峨野の寂庵を、今日は、元大阪市立大学教授の堀智晴先生と、東京でサラリーマンをしている三十五歳の私の孫と共に訪れる。何年来、欠かさず手土産にしている「豚まん」と共に。

堀先生は、ささやかな私が主催する会「寂聴作品を読む会」に参加して下さったご縁である。

見慣れた樹々に囲まれひっそりとたたずむ寂庵。年月を経た木のゴ門が、今日も私を迎えてくれる。何度、このゴ門をくぐったことか。写経に、法話の会に。そのいずれもの会の日は、このゴ門の前は、長蛇の列だった。

今日は勝手口のベルを押すと、いつものように「どうぞ」という親しみの声。秘書さんの声だ。先生の「文章塾」の生徒募集の広告を新聞紙上で知り、胸をときめかせながら、お堂の中に入ったのは、いつの日の事だったか。あれから、二十年。

毎回、一

番前の席に陣取り、ちようど私とひと回り年齢の違う、同じ成年の寂聴先生のお顔を見上げて、もう先生は八十歳代だったと思うが、そのお口から出るひと言も逃さずとその独特の華やいだお声に聞き入ったものだった。



その日、お堂の中は、静寂そのもの。正面には変わらず色とりどりの花、花、花。その中に埋もれるようにゴ法衣姿の寂聴先生の、満面笑みのお顔写真が三対。

「あら、鶴島さん、お久し振り」

あの若々しいお声が、今にも聞こえてきそうだ。

祭壇の前に座り、手を合わせると、すぐ横に茜色の法衣姿の先生が、木魚を叩きながら、般若心経を唱えられているような錯覚に陥り、思わず目に涙。今日は、同じ「寂聴作品を読む会」に参加されていた、文章塾卒業生の美樹さんの若々しい読経の声。

数えきれない程の著作品を残されて九十九

歳の生涯を終えられた寂聴先生。

ある時、あれは確か、夏の夜だったか、先生を先頭に、お経を唱えながら、何人かで、寂庵の裏山を歩いたことが、あったつけ。例によって、先生の後ろにくっついていて私に、小声で「ちよっとね、おしっこ」とささやかに、お数珠を手渡され、先生は、傍らにあった古びた木造のトイレに入られたことが、あったつけ。

ああ！ もう一度、お会いしたい。今頃は、天国への階段の頂上で、紫色の衣をなびかせ、爽やかなお顔で、般若心経を唱えていらっしやるに違いない。

必ずあった「瀨戸内寂聴」のお名前が、今年七月の『文学界』『群像』『新潮』『すばる』の諸文芸誌のどこにもないのが、このほか、寂しい。

鶴島緋沙子さんは、山田洋次監督の映画「学校Ⅲ」の原作となった「トミーの夕陽」(つげ書房新社刊)などの作品で知られる枚方市在住の作家。「大阪府高齢者大学校エッセー文学科」「大阪府民カレッジひらかた校」等講師。『トミーの夕陽』がまた昇る『私の中の瀨戸内寂聴』『もぐらの目』など。「自閉症」の息子さんの母親であり、「枚方自閉症児(者)親の会」の元代表。

STEMz マンガ文庫 蔵書紹介
 立法機関である「国会」と
 法律を専門的に扱う「弁護士」をテーマにしたマンガ

法律は日々変化しています。SNSでもよく話題になっている種痘法や、福祉事業の根本的な考え方が記された社会福祉法、消防法、建築基準法などなど、生活や事業に多大な影響を与える法令が日々国会で議論されてるんだよなあと福祉事業に関わるようになってより感じるようになりました。今回はそんな法律に関わる作品を紹介します。

◆ 恋と国会 ◆

著:西炯子 既刊1巻 蔵書1巻



元地下アイドルで若さと無知と純粋さを武器に国会に風穴を開ける新人議員のヒロインと、前内閣総理大臣の息子で子供の頃から政治の世界に骨の髄まで浸っている二世議員。二人

の主人公が国会を舞台に繰り広げるラブコメディです。

国会を舞台にしたラブコメというふりですが、コメディ要素はあるもののラブには程遠い感じです。国会の仕組みや議員さんのお仕事内容がきっちり描かれていて、「あー、そんな感じよね」と、想像の延長線上で理解出来る議員さんあるあるから、「そんな仕組みだったっけ!？」と、小学生時代に一度勉強したきりアップデートされていなかった国会の成り立ちが再度学べる作品となっています。これからの展開が楽しみ！な作品なのに続刊がなかなか発売されない……。国会を身近に感じ、政治への興味関心を促す作品として続きを世に出して欲しい！

◆ 九条の大罪 ◆

著:真鍋昌平 既刊5巻 蔵書5巻



悲惨すぎて直視できないような事件のオンパレード。売春や窃盗、暴行、強姦といった暴力的な言葉が飛び交う中、何故か厄介な案件ばかりを引き受ける弁護士を主人公にした物語です。現代社会の闇と言ってしまえばそれまでですが、なぜ凶悪な事件が起きてしまうのかというプロセスが丁寧に描かれており、その事件が起こることがある意味必然に思えてくるほどリアリティに溢れた作品です。

法律は人の人権を守り、善悪を決める指標になったとしても、命を守ってくれる訳では無い。ルールで守られるのは表面的である意味取り繕いも簡単に出来る範囲までで、ルールを守る側、理解した上で実行する側のモラルや解釈で容易に人の命を奪えるのだなと感じます。北海道の観光船沈没事故や熱中症での死亡事故や虐待といった痛ましい事故や事件は規則やルールで防げる事なのだろうか。何が善で何が悪なのか、クリティカルシンキングを鍛える一冊となっています。

(みんなで作る学童STEMs そふえ)

[STEMz マンガ文庫]で検索!

子どもたちの選択肢を多くしよう！

「とれぶりんか塾」は、学習支援と、ボランティア。

「第三の居場所」をめざします！

「とれぶりんか塾 生徒募集！（無料）——勉強意欲のある方、勉強する場所が欲しい方、質問したい方へ」というチラシを、枚方市内の生涯学習市民センターで見つけて、どんなことをやっているのかな？ 興味をひかれ、連絡して取材に行きました。

6月初めの月曜日。午後6時からの「とれぶりんか塾」開始時間にちょっと遅れて取材者が会場のラポールひらかた（枚方市新町）のお部屋のドアを開けると、机に向かってドリルを開いた小学生1人と、おとなが数人。やがて中学生も3人やってきました。ちょっとおしゃべりしたり、周囲にいる大学生やおとなに勉強のことを聞いたり。ゆったりした時間が流れていきます。勉強をがんばるというより、「勉強」をネタにみんなが一緒に時間を過ごすという感じ。

午後8時に活動終了、子どもたちが帰って行った後、「とれぶりんか塾」ボランティア・スタッフで大学生の中野さんにお話を聞きました。

「とれぶりんか塾」の活動が始まったのは2019年。市民団体「みんなで作る学校『とれぶりんか』」は牧野の市民交流センターで子ども食堂を運営しているなかで、「子どもたちに学習支援が必要」と感じ、同センターで「とれぶりんか塾」を始めました。その後新型コロナウイルス感染症が流行し緊急事態宣言が出されて市の施設が利用できなくなると、Zoomを用い、子どもたちのタブレットに配信して、オンラインの授業を行いました。

現在はラポールひらかたで月曜日と金曜日18時～20時、枚方公園青少年センターでは基本第4金曜日子ども食堂と同時開催（18時～20時頃）で、無料の「とれぶりんか塾」を開催しています。活動時には中野さんはじめ複数のボランティア・スタッフが入り、生徒に合わせて教科学習の内容を決め、学校の勉強の予習復習、



定期テスト対策、基礎固め、受験対策等のサポートを行います。

「学習支援やけど、教える・教えられるだけの関係じゃなくて、気軽に素直に話せる、おとなと子どもの関係を築きたい。ボランティアの活動も紹介しています。学校と家庭の他にもう一つ、『第三の居場所』を作りたい」と中野さん。

「とれぶりんか塾」では、今、参加者とボランティア・スタッフを同時大募集しています。

（LIP編集局 豊高明枝）

問合せはここからどうぞ ⇒



LIPが選ぶ

今月の五行歌

おともだちは
さん付けでよびましよう

こねこのこ

あだ名はきんしです
樂をしたい大人達に
大人にされてゆく子どもたち

ホタルでさえ

二等流

光りのリズム

東西で違うとか

関西はメスにはよ来いと
せつかに光る

晴れた夜には

いぶやん

天の川まで

チャリンコでいこう

河原の石にウタを書いて

流星にしよう

五行歌（ごぎょうか）とは……五行で書く短い詩。字数や季語などの制限はなく、自分のおもったこと、感じたことを、そのまま言葉にして書きます。枚方では、五行歌ひらかた歌会が、8月を除き月一度歌会を行っています。

（連絡先：akkie.toyotaka@gmail.com

または 090-5893-5635・豊高）

～「人の命」と「健康」と「ふつうの人間らしい暮らし」を求める裁判～ 原発賠償関西訴訟第33回期日の報告

5月26日（木）大阪地方裁判所で原発賠償関西訴訟第33回期日が開かれました。これは、2011年3月の東京電力福島第一原子力発電所事故で関西に避難してきた人たちが、国と東京電力（以下、東電）に対し、事故の真相究明と責任の追及、損害の完全賠償、被災者全員への暮らしの支援を求める裁判です。

新型コロナ対策のまん延防止等重点措置は解除されたものの感染者数はまだ多いことから、感染防止のため報告集会は開催されず、法廷と同時刻にオンライン模擬去廷がZoomとYouTubeで配信されました。この日法廷での傍聴を希望して集まったのは40名。コロナ禍のため制限された傍聴席数を超えたため抽選が行われました。Zoomでの模擬去廷配信への参加者は25名（運営側3名含む）、YouTubeライブ配信の視聴者は11名でした。

法廷では、原告から準備書面86「被告東京電力共通準備書面（32）に対する反論」が提出され、被告からの準備書面提出はなし。原告側は準備書面86をパワーポイントでプレゼンテーションしました。また、裁判長が交代したため、新しい裁判長に聞いてもらうために原告からの意見陳述が行われました。

原告の準備書面86は、前回期日に提出された、被告・東京電力からの、賠償に関する原告の主張に対する反論を述べた、共通準備書面32に対する反論です。東電が主張する、受忍限度論、中間指針等の位置づけ、弁済の抗弁、復興論等について、各々、受忍限度論の中核は、生じている被害が「通常甘受すべき」程度を超えているかどうかであり、本件で侵害され賠償されなければならない被害は「どの地域でどのように生きていくか」という自己決定権、自己実現等を含む人格発達権の侵害を含み、

憲法上保障された明確な権利の被害が生じていること、避難区域指定の解除によって事故前と変わらない生活を送ることができるというのは被害者や当該被害地の実態を見ない空論であること、これまで中間指針を超える賠償が認める高裁判決が確定していること等を述べて、東電の主張について一つ一つ反論していきました。

続いて行われた意見陳述では、原告代表・森村公明希子さんが、原発事故2ヶ月後0歳と3歳の子を連れて大阪市内に母子避難した経緯を語り、事故後11年たっても健康被害のリスクに脅かされ、どこでどのように生活するかと常に選択を迫られ苦悩する、自らと周囲の人々の状況を「避難しても地獄、とどまっても地獄、帰還しても地獄」と語り、無用な被ばくを本人の意思に反して強られる根拠はどこにもない、この問題は、人の生命・健康にかかわる基本的人権の問題であり、人間の尊厳に関わる問題なのだ、この裁判で、国策として原発を推進してきた国の責任が認められ、被害実態に見合った損害が認定され、人としての尊厳がこれ以上踏みこじられることのない、公正な判断がなされることを期待していると裁判官一人一人の目を見て訴え、「裁判長、人の命や健康よりも大切にされなければならないものはあるのでしょうか？」と問いかけました。

傍聴を終えて帰宅すると、「新型コロナウイルス感染予防策として使用制限されている裁判所の傍聴席について、兵庫県内大阪府内で5月31日付けで全席解除される」とテレビのニュースで報道されていました。原発賠償関西訴訟の次回第34回期日は、大阪地方裁判所で7月28日（木）午後2時開廷予定です。（文／豊高明枝）

貫くということ

澤田 泰夫

新聞を読んでいて「貫く」という言葉が目にとまった。

その言葉は社説の見出しにあつて、文字もやや大きめに印刷されているから、目につきやすいということがあった。

何日か前に、虚子の俳句を句集で読んだ。

去年今年 貫く棒の 如きもの

その中七にある「貫く」という語句の、力強い意味と響きが頭に残っていたからかもしれない。

新聞の社説の見出しには

「貫く自分 次代への教え」

とある。その数日前に亡くなられた寂聴さんについて書かれたものだった。

記事は「人生を貫いたのは、自分の足で立ち、自分の頭で考え、批判を恐れずに前に進む姿勢だ」と寂聴さんを称えていた。そしてさらに「寂聴さんは、数多い著作の中から『美は乱調にあり』『階調は偽りなり』をとりあげ、この本をぜひ前途ある若い人たちに読んでもらいたい、と書いていた」と記事は続く。

寂聴さんの、随筆はこれまで読んだことのあるのだが、小説はない。記事で自選されている小説の題名を、私は知らなかった。

『美は乱調にあり』『階調は偽りなり』

何と謎めいた題名だろうと思った。刺激的で想像をかきたてるその言葉は、どういう意味なのか。想いが頭をめぐった。

絵画展で美しい絵を前にして立ち止まる。なぜこの絵は美しいのかと思う。

また、絵を描いたりしているときに、どうすれば人をひきつける作品になるかと思案する。

構図がいいとか、色や線がきれいなどというろい思うが、そう単純ではないだろう。容易には解けないかもしれないが、どこかにヒントは隠れていそうな気がする。この「美は乱調にあり」という言葉が示唆的だと感じた。逆説的な題名の本に興味を覚え、読んでみた。

小説は、主人公の伊藤野枝が時代の旧弊にめげることなく、また、既存の価値観に流されず、自己の信念を貫き突き進む、女性としての生き方を描いている。

著者は、題名は大杉栄の「美はただ乱調にある。諧調は偽りである」という言葉から採ったとしているが、大杉栄が西洋美学にも関心を示していたらしいことは興味深い。

読んでみて題名から想像したこと、ストーリーそのものとはあまり結びつかないが、著者が訴えようとしたことが、美しいと感じる絵を観て、あるいは美しく描こうとして頭の中で想像し、思い浮かべたことと通じるところがあのように思えた。

【枚方市こころの電話相談室電話相談ボランティア養成講座 受講生募集】

◆不安や悩みを持ちながらも誰にも話せず、誰にも聴いてもらえずにいる人がいます。不安や悩みをかかえ、思い悩んでいる人の気持ちに寄り添い、よき隣人、よき聴き手となって受話器に耳を傾けるボランティア活動「枚方市こころの電話相談室」は、平成7年度より、毎日（1月1日・2日を除く）開設しています。また、電話相談室では月・水・金に開催の自殺予防電話「うらかたいのちのホットライン」にも対応しています。この度はこれらに携わる電話相談員の養成講座を開催します。

◆募集期間：令和4年7月1日（金）～令和4年8月19日（金）

◆養成期間：令和4年9月3日（土）～令和5年3月25日（土）

◆内 容：原則毎月2～3回の講義、ケース研究、実習等

◆受講料：13,000円

◆受講資格：①令和4年9月3日時点で23歳以上70歳程度の健康な方

②「こころの電話相談室」の趣旨に賛同し、月2回以上の電話相談と毎月の研修に参加できる方 ③開講前の面接に来所できる方

◆問合せ先：〒573-1191 枚方市新町2丁目1-35 枚方市社会福祉協議会生活支援課 電話相談ボランティア養成講座係 072-807-3017

寂聴さんは、本にあるとおりの生を貫かれたのかもしれない。

最後までやり抜くという、強い意志を含む「貫く」という言葉は、私に自省を促す響きとして伝わってくる。

さて、貫き通す何かがあるだろうか。

「大阪府高齢者大学」文章講座卒業生でつくる「鶴島学校」の澤田 泰夫さんの作品です。講師をつとめる鶴島緋沙子さんの推奨作品。

No.16

なんちゃって農業女子(笑)

今回のお話は、今が旬の春じゃが芋です。

じゃが芋は、ナス科の植物で、ナスやトマトに似た花が咲きます。じゃが芋の花の話は、以前にも投稿しましたが、芋の品種によって白・紫・ピンクなど花の色も様々で、花の形もかわいいです。今年、我が家のじゃが芋の花に異変が！ 花の後に「トマトにそっくり」な実が付きました。それが写真①(表紙に掲載)

ほら、トマトみたいでしょ(笑)

じゃが芋は、地下にできる芋で繁殖する植物なので、地上で咲く花の受粉能力は弱いらしく、花は咲いてもそのままポロリと落ちて実が付かないことが多いのです。ところが、品種なのだと思いますが、受精能力を持った花を咲かせたものがうちの畑のじゃが芋の中にいた、と言う訳です。花はナスの花にそっくりで、花後に付く実はトマトにそっくり。

気になるのは、この実が食べれるのか??ってこと。試しにかじってみたけど×トマトの若い緑の時のように少し苦くてまずかった。

あとで、調べてみたのですが、「完全に熟した状態になれば、酸味はあるものの、甘みもあり、フルーティーな味がする」そうです。



「デストロイヤー」写真②

先日まで花盛りの我が家のじゃが芋の畝ですが、ようやく掘り起こしてみました。花が咲いたり実が付いたり、ドキドキしましたがそこそこ収穫出来て満足満足。中でも、大好きな「デストロイヤー」がちゃんと実っていたので、良かったです。写真②覆面レスラーにそっくりでしょ(笑)それが名前の由来です。正式名はグラウンドペチカ。地面から暖炉の炎が出てるように見えることから、付いたとか。

名前はどうしても、外は赤紫、中身は鮮やかな黄色。加熱するとホクホクで、さつまいもや栗のような濃厚な甘みと風味があり、粘り気があるし煮崩れしにくいので、煮込む料理に向いています。皮の色も鮮やかでキレイなので、皮付きのまま調理して食べます。見た目イカツイけど……ぜひ食べてみて下さい。

(文・写真 へそくん)

イベント・サークル・ボランティア情報

「改憲の動きと緊急事態条項」

- ◆ 日時 7月17日(日) 14:00~16:00
- ◆ 会場 青年の家201号室(京阪交野市駅から徒歩4分)
- ◆ 講師 太田健義弁護士(大阪弁護士会)
- ◆ 主催 憲法とくらしを考える会
- ◆ 連絡先 072-892-4938(松村)
- ◆ 参加費 500円

改憲の動きが急です。とりわけ緊急事態条項の創設が取りざたされています。大阪弁護士会で緊急事態条項のパンフを作られた太田弁護士をお招きし、内容や問題点についてなどを伺います。私たちのくらしに大きく関わるお話です。ぜひご参加を。

【枚方自閉症児(者)親の会】

お母さん、一人で悩んでいませんか? 障害があってもなくても、みんなと一緒に成長していきましょう。

おじいちゃん、おばあちゃんも歓迎です。

- ◆ 日時: 7月7日(木) 10:00~12:00

- ◆ 場所: ラポールひらかた 4階共用ルーム

※連絡先 松崎 072-845-3014 さんなみ 072-868-9929

第26回「障害」のある子どもの高校進学を考える会

障害のある生徒の高校進学の実況、自立支援コース・共生推進教室の制度や普通高校の受験・進学など情報を知って進路を決めよう!

- ◆ とき: 7月31日(日) 午後1時30分~4時45分

- ◆ ところ: ラポールひらかた 3階 研修室1

- ① “知的障害者を普通高校へ北河内連絡会”の簡単な総会
- ② 大阪府教育庁高校教育改革課首席指導主事 志村和俊さん 障害者の高校受験について

「自立支援コース」「共生推進教室」の説明など

- ③ 今年度の高校受験に向けた詳細な情報 片岡次雄さん

- ④ お話し~私が経験したこと、考えたこと

「重い障害があっても地域の学校へ」~急性脳症後遺症の娘と歩んだ日々~ 尾本知子さん(大阪府立岬高校2年生 捺綺さんの母)

- ⑤ フリートーク 質疑応答、意見交流、情報交換

- ⑥ 終了後、どんな小さな疑問にも答える進路相談会

- ◆ 参加協力費(資料代等) : 300円(一家族につき)

- ◆ 申込み Zoom参加希望の方は7月28日(木)までに、松森宛メールか電話で申し込んでください。

松森のアドレス⇒ matumori@crux.ocn.ne.jp

終了後に振込口座をお知らせしますので入金してください。

会場参加の方は申し込み不要です。

- ◆ 問合せ 松森俊尚090-1960-3469 関山域子090-2599-6162

- ◆ 主催 知的障害者を普通高校へ北河内連絡会

- ◆ 共催 寝屋川市の義務教育における医療的ケアを考える会

わたしの闘病日記

「身体中で一番新しい関節に感謝」(完)

再手術後から8か月後、ベッドに座りズボンをはいていた時、右手後方のテレビから事件のニュースが流れました。右足をズボンに半分入れた状態で右側へ身体をねじりテレビを見ようとした途端、右足が内側にねじれ!!!足が! 足が! 脱臼したのです。

さらに半年後、ベッドに仰向きで寝っ転がって足の血行がよくなるようにブラブラしていたら!!!足が! 足が! 脱臼してしまったのです。

さらに9か月後、庭の雑草を抜いていた時、右足先に小枝が引っかかったので.....

この時ガニ股で小枝を取ればよかったのですが、思わず両足を左側に傾けてしまいました。その途端、足が! 足が! 脱臼してしまったのです。

丁度窓枠の近くだったので、身体を窓枠で支えることが出来たのですが、前かがみになった姿勢のまま動けません。携帯電話は家の中。気温は30℃。冷や汗ダラダラ。私は大声で叫びました。「誰か助けてください。だれか救急車を呼んでください。」叫び続けました。恐らく10分位叫んでいたでしょう。

やっと川向こうの裏の方が気付いてくださり、救急車を呼んでくださいました。救急隊が3人駆けつけてくださり命拾いをしました。私の開口一番は「冷蔵庫に水が入っているから、水を飲ませてください。」でした。雑草抜きを始めて約1時間、水分補給していませんでした。30℃の暑さで汗ダク、脱臼の痛みで冷や汗ダラダラ、もし裏の方が気付いてくださらなかったら、私はどうなっていたか?

考えただけでゾッとします。携帯電話を首からぶら下げておかなければなりませんね。

いつ脱臼するかわからないリスクをいつも負っています。この動作は脱臼しないか? つい考えてしまいます。でも手術前の夜も眠れない毎日、やりたいこともできない、行きたい所へもいけない。そんなことを考えると今は快適です。

手術を迷っておられる方、確かに一時はリハビリの辛さ乗り越えなければなりません。

しかし私が手術を受けたのは5年前です。最近ではもっと小さな傷口で手術をできるらしいという情報も聞きました。私の僅かな経験でお伝えできるのは、リハビリに耐えられる体力と気力がある間に手術された方が良いと思います。そして痛いからと言って退院後のリハビリを怠ってしまうと、せっかく一番新しい関節を手に入れたのに活用できず、いつまでも杖が離せない、という事になってしまいます。

脱臼のリスクはあるものの、私のように登山・踊りなどのお転婆をしない限り、日常生活は問題ありません。

長きに渡って私の勝手な話に付き合ってくださいありがとうございました。今言えることは「身体の中で一番新しい関節に感謝」です。(完)

応援ありがとうございます♪

LIP応援団

「高槻の友人」さん

LIP会計報告 (前号以降)

金額(円)	内容
54,105	前号から繰り越し
3,000	寄付
▼508	郵送料
▼3,000	市民活動支援センター年会費
▼500	ロッカー代
▼3,990	6月号印刷代
49,107	計(次号へ繰り越し)

STOP WAR

外出をお手伝いします。

枚方市内、その近隣であれば行先・目的に制限はありません。また、目的地でのお手伝い、例えば買物でしたら買物カゴを持ったり、支払い行為のお手伝いもできます。お墓参りに行くとき階段が辛い、そんな場合も一緒に登ります(抱えたりは出来ません)。ひとりで病院に行くのは不安、そんな場合も診察終了まで付添います。自動車を使う移動が必要な場合、自動車も用意できます。

料金：1時間3千円

※ご注意

- ・例えば、お友達と喫茶店やカラオケで楽しみたい。その場合、一緒に入店してお待ちしたり、外で待機したり、ご希望に添えますが、その間の時間は計上されます。
- ・自動車を利用してもしなくても同額(別途運賃等は不要)
- ・原則枚方市内および極近隣(例=高槻の大阪医科大など)しか行きません

★枚方市宮之阪1-16-4

特定非営利活動法人エンパワセツルメント

たけたに TEL 070-5653-6124

(電話が繋がらない際は折り返しをお待ち下さい)

このお手伝いは2022年度枚方市NPO活動応援基金補助事業による事業です



枚方コーりん

デビューしちゃう?

【ひらつーパートナー・ライト】

月額5,610円

詳しくはコチラ➡➡



イラスト 表紙、P4：平井由恵